



[HOME](#) [仏教](#) [仏像](#) [名所旧跡](#) [スナップ](#) [グロマコン](#) [経営コンサルタント](#)

【カシャリ！ ひとり旅】

東京北区石神井川沿いのウォーキング 7

北区 谷津大観音と石神井川の桜

JTBパブリッシング社の「東京自然を楽しむウォーキング」を参照して、2021年3月に、北区のJR王子駅から、板橋区の都営三田線・板橋区役所前駅までの約6kmを、桜をモチーフに楽しみました。

東京都北区

<http://www.city.kita.tokyo.jp/>

区のサイトによりますと北区は、下記のように紹介されています。

北区は、江戸時代から飛鳥山の桜、石神川||の滝や紅葉といった四季の変化を楽しむことができる行楽地として知られていました。現在も、これらの自然をはじめ、荒川や石神井川などの4つの河川に恵まれた緑あふれるうるおいのまちです。

JRや地下鉄、都電などが区内を走り、商店街がにぎわう便利で活気のあるまちでもあります。

令和6年には、近代日本経済の礎を築いた渋沢栄一が新一万円札の顔として登場。渋沢は、61歳から亡くなる91歳までの30年間、飛鳥山の一角を本邸として過ごし、その邸宅の一部も残り、また渋沢資料館として一般公開もされています。

北区基本構想では、将来像として、「ともに作り未来につなぐときめきのまち ～ 人と水とみどりの美しいふるさと北区」を掲げ、その実現に向けて努力しています。



面積	20.61km ²
総人口	353,431人（推計人口、2021年2月1日）
人口密度	17,149人/km ²
区の木	サクラ（1972年12月25日制定）
区の花	ツツジ（1972年12月25日制定）

■ 東京都北区王子

王子（おうじ）は、東京都北区のほぼ中央部に位置し、東北新幹線、京浜東北線などが南北に貫通し、それに並行するように国道122号（北本通り）が走っています。その通り沿いには、王子随一の繁華街があります。

昭和40年代までは、渋沢栄一で知られる旧王子製紙（過度経済力集中排除法による会社分割前の王子製紙であり現在の同名企業とは異なる）の工場や社宅が多く立ち並んでいました。

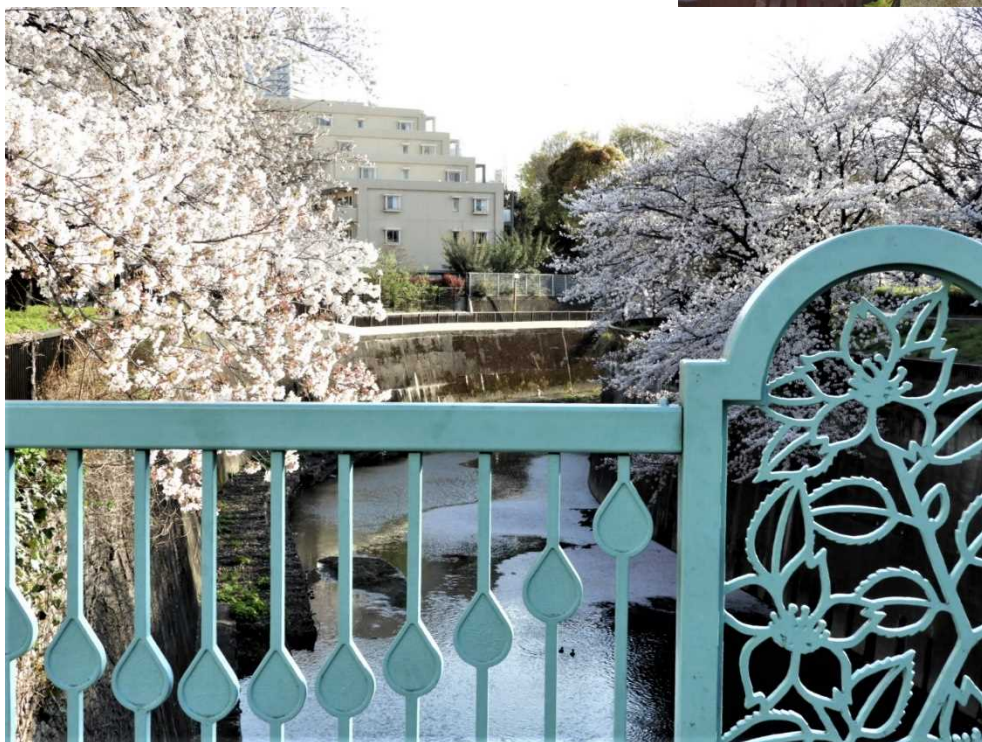
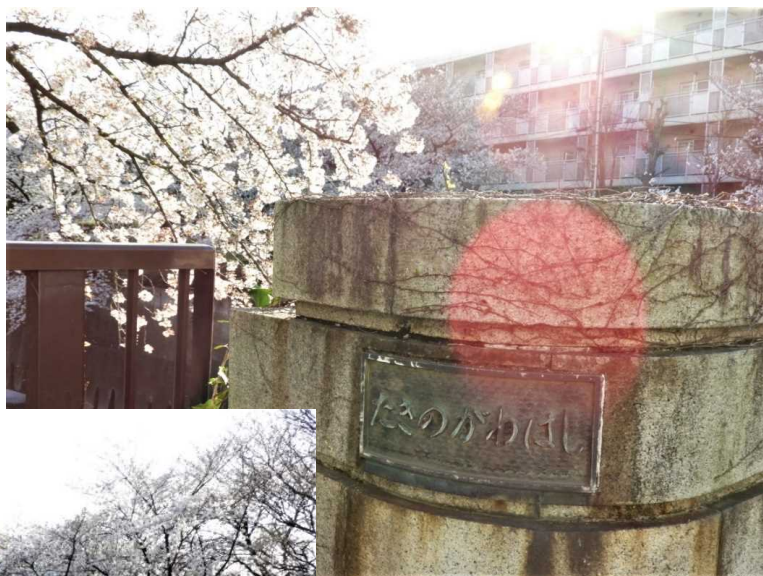
徳川8代将軍吉宗の時代から桜の名所として知られる王子ですが、日本で最初に制定された公園として知られる飛鳥山公園があります。見落とされがちなのが、桜並木の美しい石神井川（しゃくじいがわ）を遡り旧中山道の板橋宿まで続く遊歩道です。

【 注 】 本文は、北区サイトより引用して作成

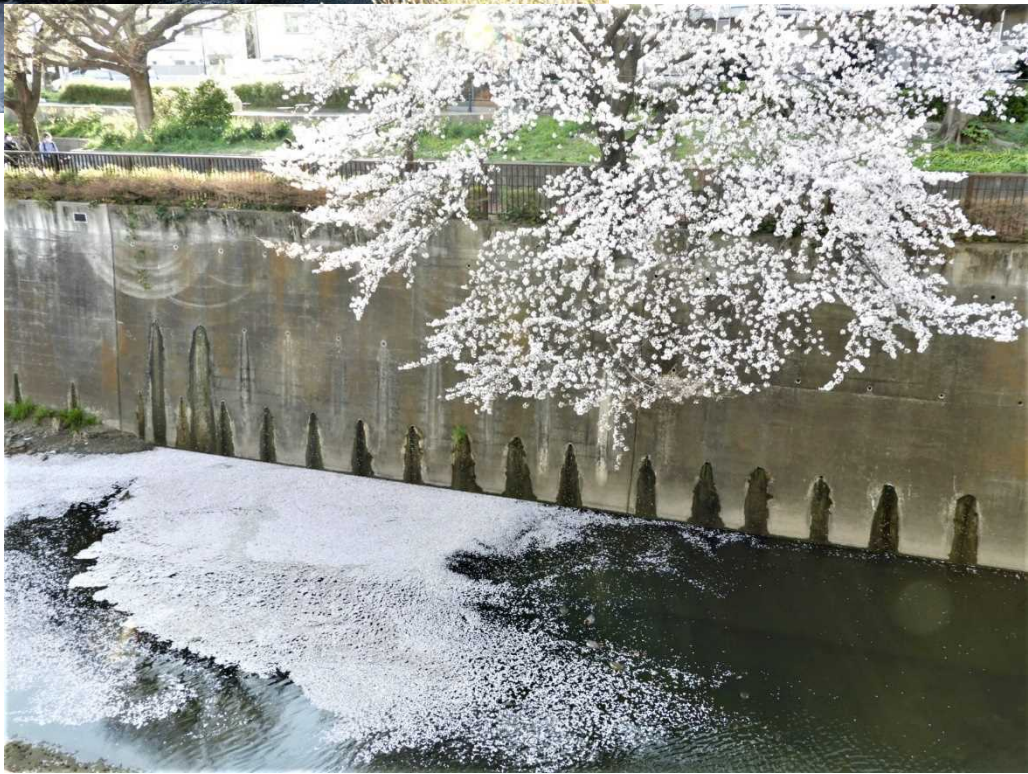
■ 石神井川にかかる橋

JR王子駅北口より、石神井川（しゃくじいがわ、一部音無川）を板橋区方向に遡って、桜並木の遊歩道を歩きました。

金剛寺や松橋弁天をまわり、北区から板橋区の区境に近くなり、【カシャリ！ ひとり旅】も終わりに近づいてきました。



この辺りは、北区滝野川という住宅地域でもあり、町工場も点在しています。



正面近くからの西日に向
かってさらに進みますと、
谷津大観音のある観音橋
(かんおんばし) にたどり
つきました。ここで一旦石
神井川を渡ります。



■ 谷津大観音

<https://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/rekishi/fureru/bunkazai/takinogawa/yatsu.html>

谷津大観音のある寿徳寺（じゅとくじ）は、東京都北区滝野川 4 丁目にある真言宗豊山派の寺院です。女性、第 25 世の新井京誉住職です。 滝野川 4-22-2 寿徳寺境内

南照山観音院寿徳寺の本尊である谷津子育て観音（やつこそだてかんのん）は、木造の観音菩薩坐像です。この観音像は谷津観音と通称され、江戸時代の地誌には子安（こやす）観音とも、また、聖観音（しょうかんのん）とも記

されています。

寺伝によりますと、鎌倉時代の初期に、早船・小宮の両氏が、その主家である梶原氏と争いました。その時に、追われて落ちのびる途中で、水中から一体の仏像を拾いあげ、堂山に安置しました。

像の姿は、蓮華座に坐り、両手で乳児を膝の上に抱えている姿で、指を阿弥陀如来(あみだによらい)と同じ弥陀の定印に結んでいます。現在は秘仏となっていますので、拝むことはできません。

寿徳寺は、江戸時代から城北地域の江戸西国三十三番観音札所の第十二番目の巡礼地にあたり、近江国(滋賀県)岩間寺(いわまでら)の霊験と同じ功德(くどく)をもつものとして多くの人々が訪れています。

境内に切株から芽吹いている銀杏(いちょう)があり、昔、飛鳥山付近からも眺められたほどの巨木であったそうです。この樹の皮をはいで、本尊に供え、祈願した後に煎じて飲むと母乳が良く出るようになるという信仰もあります。

こうした信仰は昭和の初期にも盛んだったようで、河東碧梧桐(かわひがしへきごとう)の俳句に

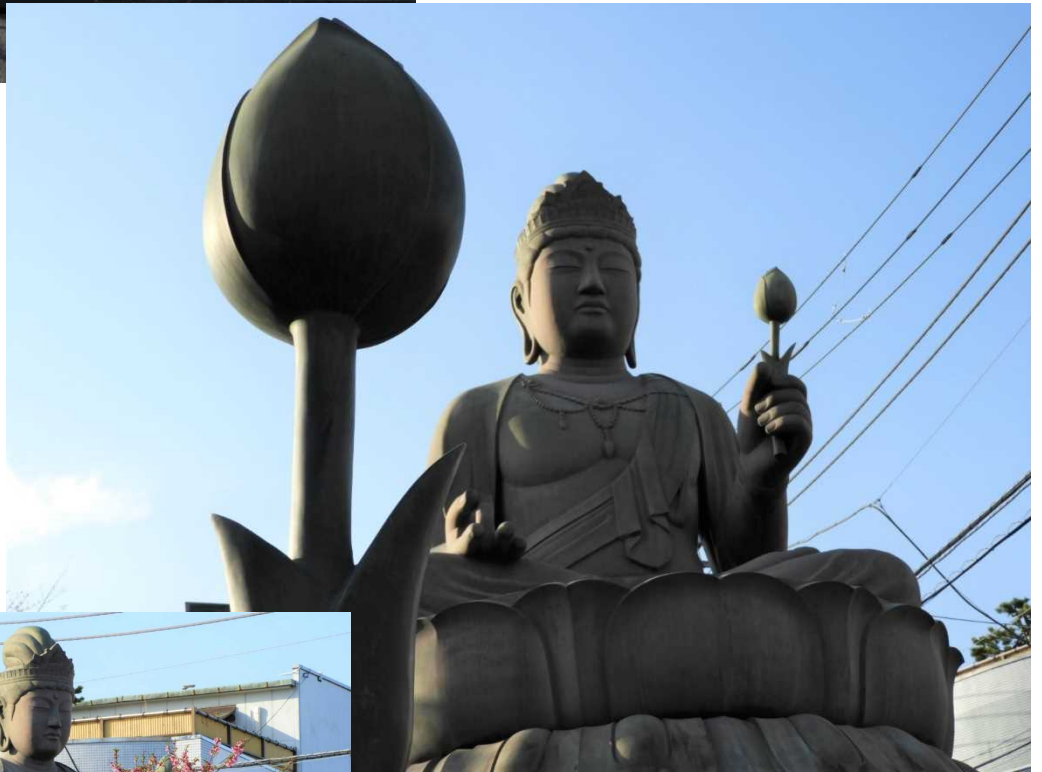
秋立つや子安詣(もうで)の花の束

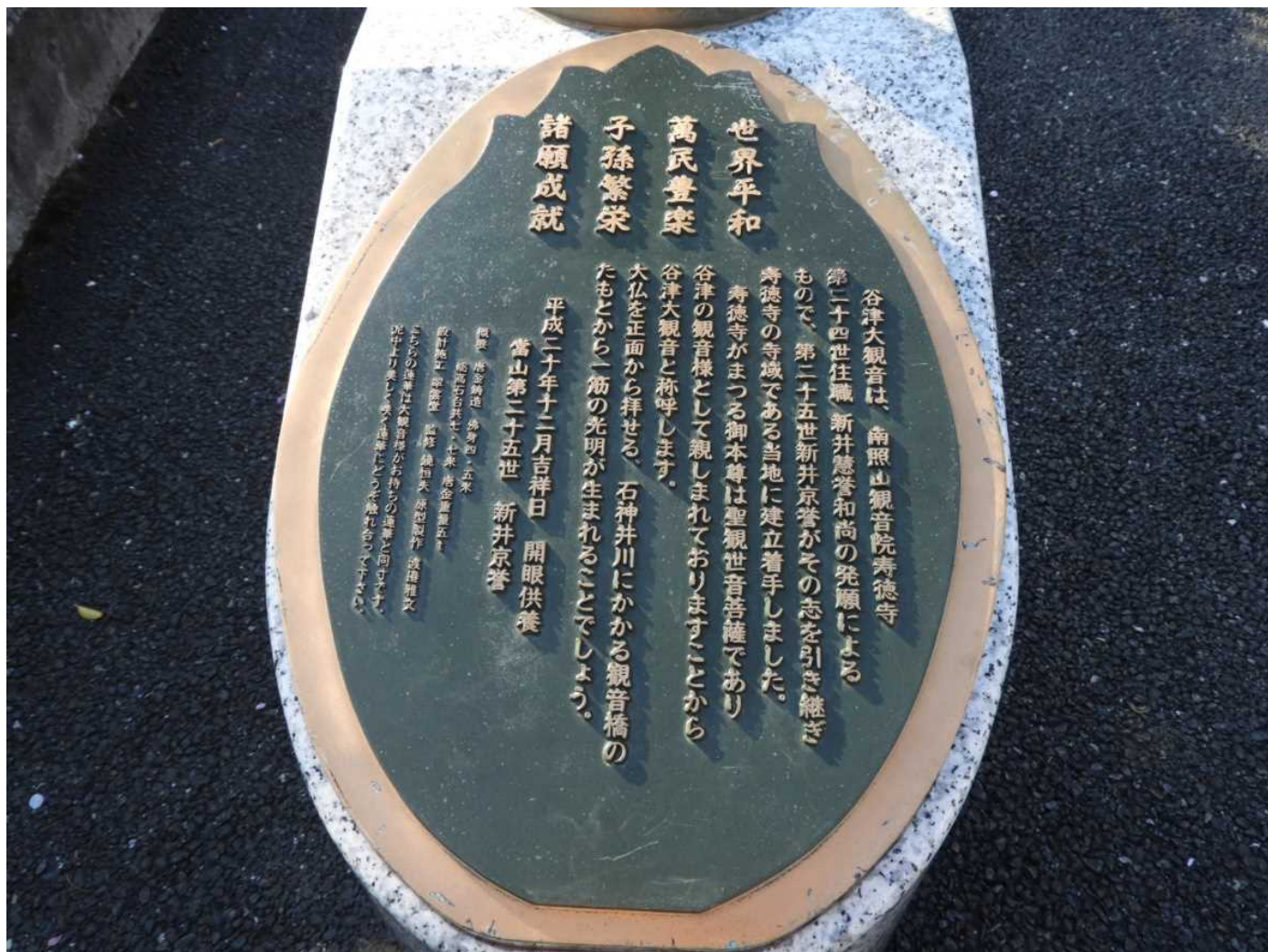
という句があります。



また、寺野守水老も「我妹子(もこ)と子安に詣る小春かな」(小林鶯里編『東京を歌へる』昭和5年)という句を詠んでいます。

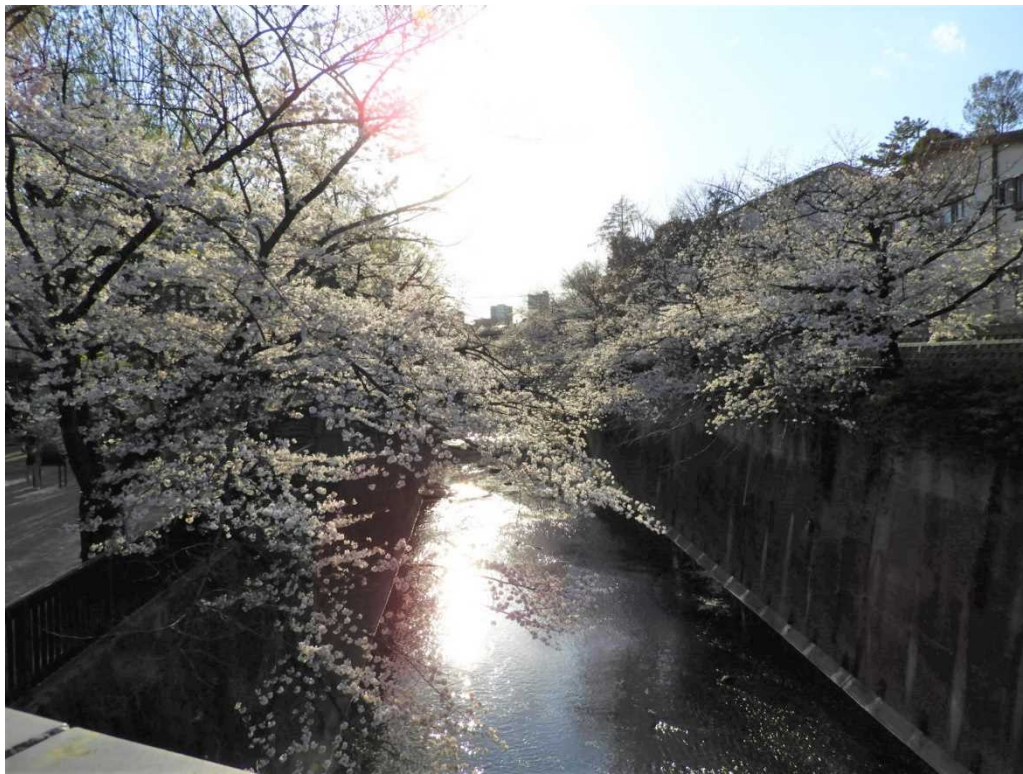
寿徳寺は新選組局長近藤勇の菩提寺でもあり、寺入口には近藤勇の石碑があります。(北区サイトより作成)





■ 谷津橋





陽もだいぶ西に傾いてきました。

そろそろ、桜並木の小さな【カシャリ！ ひとり旅】も終わりです。

■ 加賀公園

<https://restaurant.ikyuu.com/hanami/spot9358/>

さらに石神井川を上りますと板橋区に入ります。そこに「加賀公園」があります。その名前からも想像ができますが、ここは加賀前田藩の下屋敷跡です。時間があればライトアップされた公園を見たかったのですが、家路につくことにしました。

次の小旅行のために、ここに資料を挿入しておくことにしました。

加賀公園周辺はかつて加賀前田藩の下屋敷があった場所で、加賀公園は、下屋敷内の庭園にあった築山の跡。園内では桜の見頃にぼんぼりが灯り、夜桜見物をする人々でにぎわう。また、加賀公園に隣接する金沢橋付近の石神井川を覆いつくす桜も見事だ。

お花見・桜名所情報

見頃 2020年3月下旬桜の本数 約20本(ソメイヨシノ、加賀公園内) ライトアップ ぼんぼり・ちょうちん点灯は2020年



3月中旬～4月中旬夜桜観賞

可能トイレ数 1ヶ所

アクセス

住所 東京都板橋区加賀 1

地下鉄新板橋駅から徒歩7分、または地下鉄板橋区役所前駅から徒歩10分

